

ヒナカマキリ

Amantis nawai Shiraki

カマキリ目カマキリ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

選定理由

暖地性のカマキリであり、石川県は北方の分布地で生息地が限定される。おもに照葉樹林に生息するが、個体数は少ない。

形態

開張15mm前後の小型のカマキリである。体は褐色で、ハネの無いのが特徴である。

国内分布

新潟県以西の本州、四国、九州、南西諸島に分布する。

県内分布

加賀市、七尾市、志賀町、穴水町、輪島市、珠洲市の約11箇所から記録がある。

生態

自然度の高い照葉樹林に生息するが、二次林からも記録がある。成虫は年1回発生し、8月から10月に見られ、地表徘徊性で、林床の落葉上や落葉の間を活発に行動する。地表の小動物を捕食する。

生息地の条件

落葉層に恵まれた自然度の高い照葉樹林や低地林の存在が必要である。林床はやや暗めで、湿度が保たれていることも重要である。

生存の危機

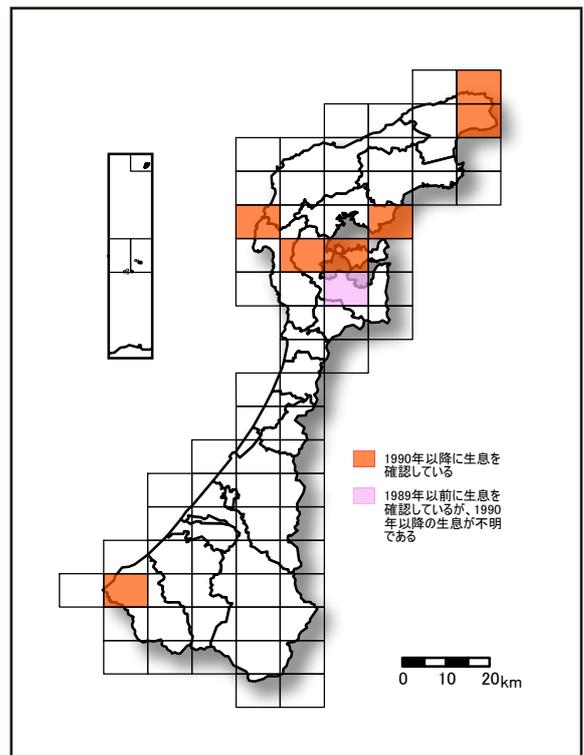
本種本来の生息地である自然の高い照葉樹林は孤立していること、ハネが無く、移動性に乏しい昆虫であることなどが減少要因となっている。現在の生息地である社叢林等の照葉樹林は、伐採や落葉の除去等の環境整備は避けるべきである。(A)

参考文献

- 富沢 章 2003. 石川県南部における照葉樹林の希少昆虫. 小松市立博物館研究紀要, (39) : 54-61.
松井正人 2004. 石川県でカマキリ類を採集. 翔, (171) : 6.
富沢 章 2005. ヒナカマキリの採集記録. とっくりばち, (73) : 25.
石原一彦 2006. 志賀町でヒナカマキリを採集. とっくりばち, (74) : 75.



写真提供者:富沢章



県内の分布